

保護者様

掛川市立原田小学校長

## 令和5年度「全国学力・学習状況調査」結果のお知らせ

日ごろより、本校の教育活動に温かい御支援、御協力をいただきありがとうございます。本年度の全国学力・学習状況調査の結果についてお知らせします。今回の調査は6年生が実施したのですが、小学校6年間で積み上げてきた学力が問われるものです。

本校でもこの調査結果を分析し、子どもたちの得意なところや良いところは伸ばし、課題は克服できるように指導をしていきます。御家庭でも家庭学習のあり方や生活習慣について参考にしていただければ幸いです。

## 1 市・県・全国平均との比較

◎…+2pt以上 ○…0~1.9pt ●…-0.1~-1.9pt ▲…-2pt以上

教科	市平均	県平均	全国平均
国語	◎	◎	◎
算数	◎	◎	◎

※平均正答率をもとに比較

問題や正答例は  
こちらから⇒



## 2 学力調査から見える本校児童の良さと期待、今後の取組

## (1) 国語

記号で答える問題から字数制限のある論述問題まで、多岐に渡る調査問題が出題されました。本校の国語の平均正答率は、市・県・全国の平均正答率を大きく上回る結果でした。

「話すこと・聞くこと」の領域では、必要なことを質問しながら聞き、話し手が伝えたいことや、自分が聞きたいことの内容を捉えることができていました。「読むこと」の問題では、目的を意識して要約したり、文章を読んで理解したことに基づいて自分の考えをまとめたりすることができていました。

「書くこと」では、複数の資料から分かったことを読み取り、自分の考えを60~100字で書く問題でした。一つ一つの資料を正しく読み取り、自分の考えを書くことができていましたが、一つの資料から分かったことを書いている児童が多く、複数の資料から読み取ったことを関連付けながら書くことに課題が見られました。

今後は、社会科や総合的な学習の時間等の、他教科の学習と関連付けながら、図表やグラフ等の複数の情報の関係を捉えながら、自分の意見を伝えることにも、意識して取り組んでいきます。

## (2) 算数

本校の算数の平均正答率は、県・全国の平均正答率を上回る結果でした。

「A 数を計算」の領域では、乗法や除法の計算を正しく行ったり、図を基に筆算の小さい意味を考えたりすることができていました。また、「E データの活用」では、グラフを正しく読み取り、違いを数や言葉を用いて記述することができていました。

「D 変化と関係」は県・全国平均を下回っています。比例の関係であることを用いて知りたい数量の大きさを求めることや、割合についての正答率が低くなりました。図や表を用いて求めようとしている児童も見られましたが、数量の関係を正しく図や表に表すことができなかつたため、誤答となったものもありました。**図や表等を用いるだけでなく、数量がどのような関係を意味しているかを理解しながら活用していくことを大切にしていけます。**

### (3) 児童質問紙

児童質問紙は、学校や家庭でどのように学習に向き合い、取り組んでいるか、児童が学校・家庭・地域・ICT などとどのようにかかわっているか等を調べる調査です。

本校の児童の結果は、ほとんどの項目で県・全国平均よりも肯定的な回答が得られました。各家庭の御支援と御協力の賜です。ありがとうございます。

生活面での成果と期待したいことを以下にまとめました。

#### ○自己肯定感が高く、挑戦しようとする姿が見られます。

「自分にはよいところがある」、「普段の生活の中で、幸せな気持ちになることある」と答えている割合が、高いです。「たからものカード」や「おお！たから山」の活動を中心に、自分や友達、学級のたからものを積み重ねた結果として表れています。自分に自信をもっているからこそ、苦手なことに挑戦しようとする勇気が生まれます。普段の学校生活からも、あらゆることに挑戦している6年生の姿が見られます。



#### ○地域のことが大好きです。

「今住んでいる地域の行事に参加している」、「地域や社会をよくするために何かしてみたいと思う」と回答した児童が多いです。学校外の行事はもちろん、昨年度、総合的な学習の時間では原一レタシーづくり挑戦しました。自分たちが暮らしている原田地区に誇りをもち、何ができるかを考え、よりよくしていきたいという思いをもって、今年度も活動をしています。



#### ☆生活リズムについて、御家庭でも話し合ってみましょう。

「学校が休みの日の勉強時間、読書時間」が県や全国に比べ短いという結果になりました。勉強時間では、1時間未満と答えた児童が多かったです。一方、「計画的に勉強に取り組んでいる」と答える児童は多かったです。決められた宿題だけではなく、ドリルパーク等を活用しながら、自主学習にも取り組んでいけるよう、学校でも指導をしていきたいと思えます。

また、「毎日、同じぐらいの時刻に寝ている」では、あまりしていないと答える児童の割合が高かったです。メディア使用の約束を含めた生活リズムについて、今一度、御家庭でも話し合ってみてください。よろしくお願ひします。